

# 群馬県言語聴覚士会の紹介

## ～ 歩みとこれから



一般社団法人  
群馬県言語聴覚士会

一般社団法人 群馬県言語聴覚士会

令和3年度学術研究発表会 特別講演資料を基に作成

## 発足前のこと 1980年代～



# 群馬県コミュニケーション障害研究会

1980年代から、医療、福祉、教育、リハ職、心理職、教員等の有志数名で始まり、年々参加者が増えた。

各会員の現場での知識や技術の向上等が主な活動で、抱えている悩みの相談の場にもなっていた。

国家資格にはなっていなかったが、言語、摂食・嚥下、発達・聴覚に関わる職員も徐々に多くなり、後の群馬県言語聴覚士会（旧会）の土台となった。

# 群馬県言語聴覚士会(旧会)

Gunma Association of Speech-Language-Hearing Therapist

2000年2月 設立総会

同年 第1回 総会 初代 真下 潔 会長



一般社団法人  
群馬県言語聴覚士会

55名の言語聴覚士が設立総会に集まる

## 国家資格化

1997年 言語聴覚士法制定

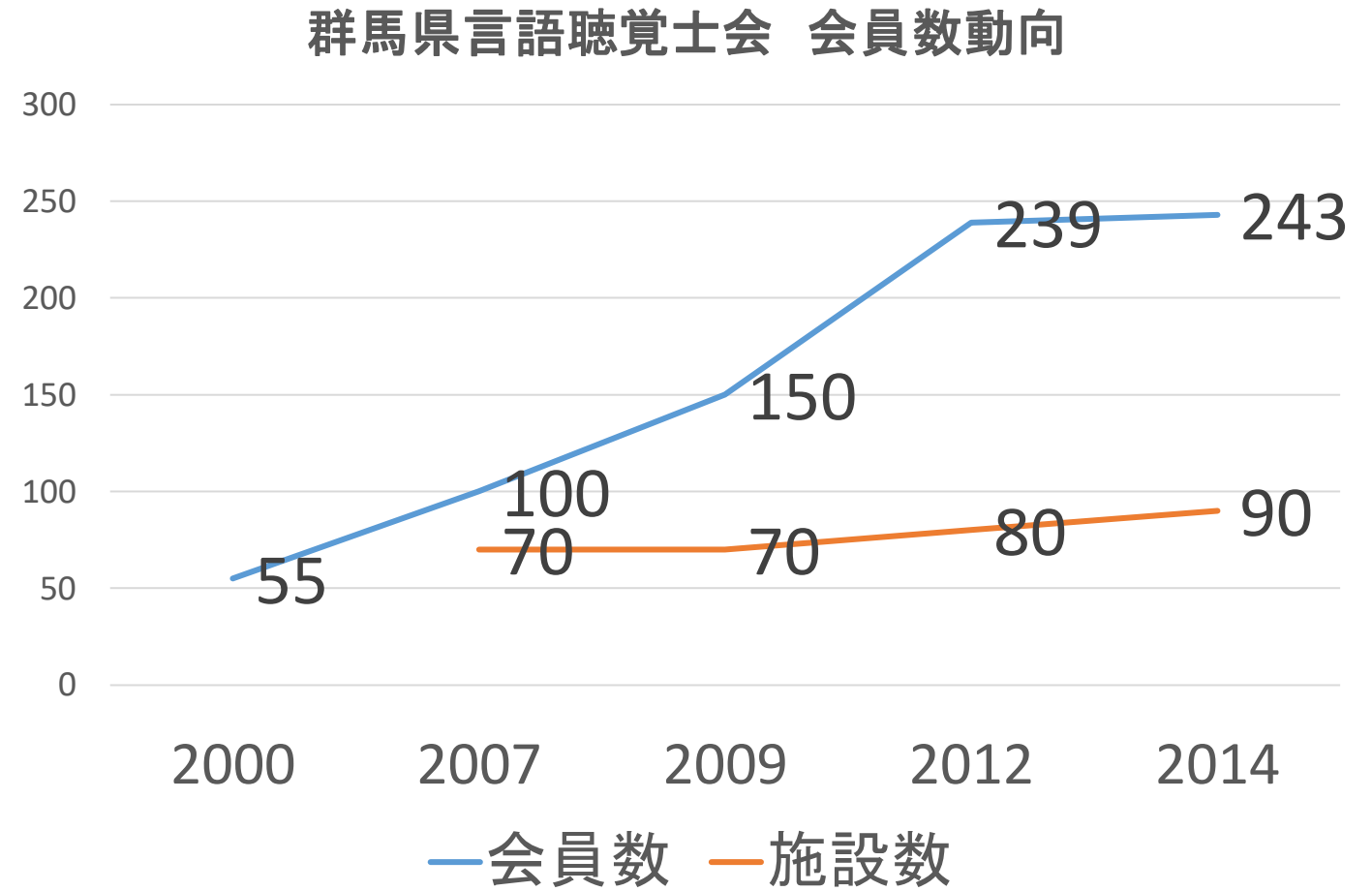
1998年 言語聴覚士法施行

1999年 第1回国家試験

2000年	上毛新聞	真下潔会長 長谷川靖英事務局長（沢渡温泉病院）	群馬県言語聴覚士会発足 言語聴覚士の仕事紹介 「リハビリ指導の専門職」 「異常早期発見の窓口に」
2000年	朝日新聞	長谷川靖英事務局長（沢渡温泉病院） 前橋医療福祉専門学校言語聴覚学科	「活躍の場 拡大へ」 ST養成校について
2005年	毎日新聞	総合太田病院 前原亜哉子ST	「言葉取り戻す手伝いを」 STの役割 ニーズ
2016年	上毛新聞	群馬県言語聴覚士会	言語聴覚の日
2017年	群馬テレビ	群馬県言語聴覚士会	言語聴覚の日
2018年	上毛新聞	群馬県言語聴覚士会	言語聴覚の日
2018年	上毛新聞	公立藤岡総合病院 笠原里紗ST	STとしての働きがい 「食べる、話すの力に」
2019年	上毛新聞	老年病研究所附属病院 真塩智子ST	「伝えたい気持ちに答える」 「人の可能性を伸ばす」

# 言語聴覚士会の会員数動向

年	会員数	施設数
2000	55	—
2007	100	70
2009	150	70
2012	239	80
2014	243	90



# 群馬県言語聴覚士会 組織の変遷

会長 副会長 事務局長 会計 各部長 幹事

- 2000年 事務局 学術研修部 広報部
- 2006年 事務局 学術研修部 広報部 介護保険委員会
- 2007年 事務局 学術研修部 広報部 介護保険部
- 2013年 事務局 学術研修部 広報部 介護保険部→地域リハ部
- 2014年 事務局 学術研修部 広報部 地域リハ部 渉外部

※介護保険法 2000年施行（1997年成立）

※渉外部 後のPOS連携協議会等へ移行

# 一般社団法人群馬県言語聴覚士会 Gunma Association of Speech-Language-Hearing Therapist

- 2018. 4. 4 法人登記し、設立
- 2018. 4. ~5. 第1回 第2回理事会
- 2018. 5. 27 2018年度旧会総会にて解散  
2018年度一般社団法人総会

※会員数 **268名** (2014年 243名)

賛助会員 4



一般社団法人  
群馬県言語聴覚士会

# 一般社団法人・非営利法人とは

- 一般社団法人とは、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）」に基づいて設立された社団法人。

メリット 「信用」「信頼」 行政からの委託事業を受けやすい。

→ 設立までの段取りと会計処理の公正さ。

「信用」「信頼」は、実績と日頃のコミュニケーションの中で育まれる。

- **非営利社団法人とは**、利益を分配することを目的としない法人。  
会計処理・貸借対照表等の作成と公開

# 本会の目的（定款第3条）

- 言語聴覚士の資質の向上
- 言語聴覚障害に対する理解と知識の普及
- 言語聴覚療法の普及
- 関連領域の発展に寄与

目的を共有することが大切



群馬県言語聴覚士会

# 具体的な事業（定款第3条）

- 言語聴覚士としての**学術、技術の向上**に関する事業
- **言語聴覚障害の理解と知識の普及**に関する事業
- **言語聴覚士の職域の拡大と社会的地位の向上及び安定**に関する事業
- **地域社会の保健・医療・介護・福祉・教育の発展と充実**に寄与する事業
- 関係団体との連携・交流に関する事業
- **会員相互の連携や親睦**に関する事業
- その他、この法人の目的を達成するために必要と認める事業

## 言語聴覚士の仕事は

- 人間の尊厳に深くかかわる「それぞれの方が意思を伝えること」「自分自身との対話」を支援すること
- 人にとって、生存に不可欠で基本的欲求でもある「食べること」「栄養摂取」について支援すること

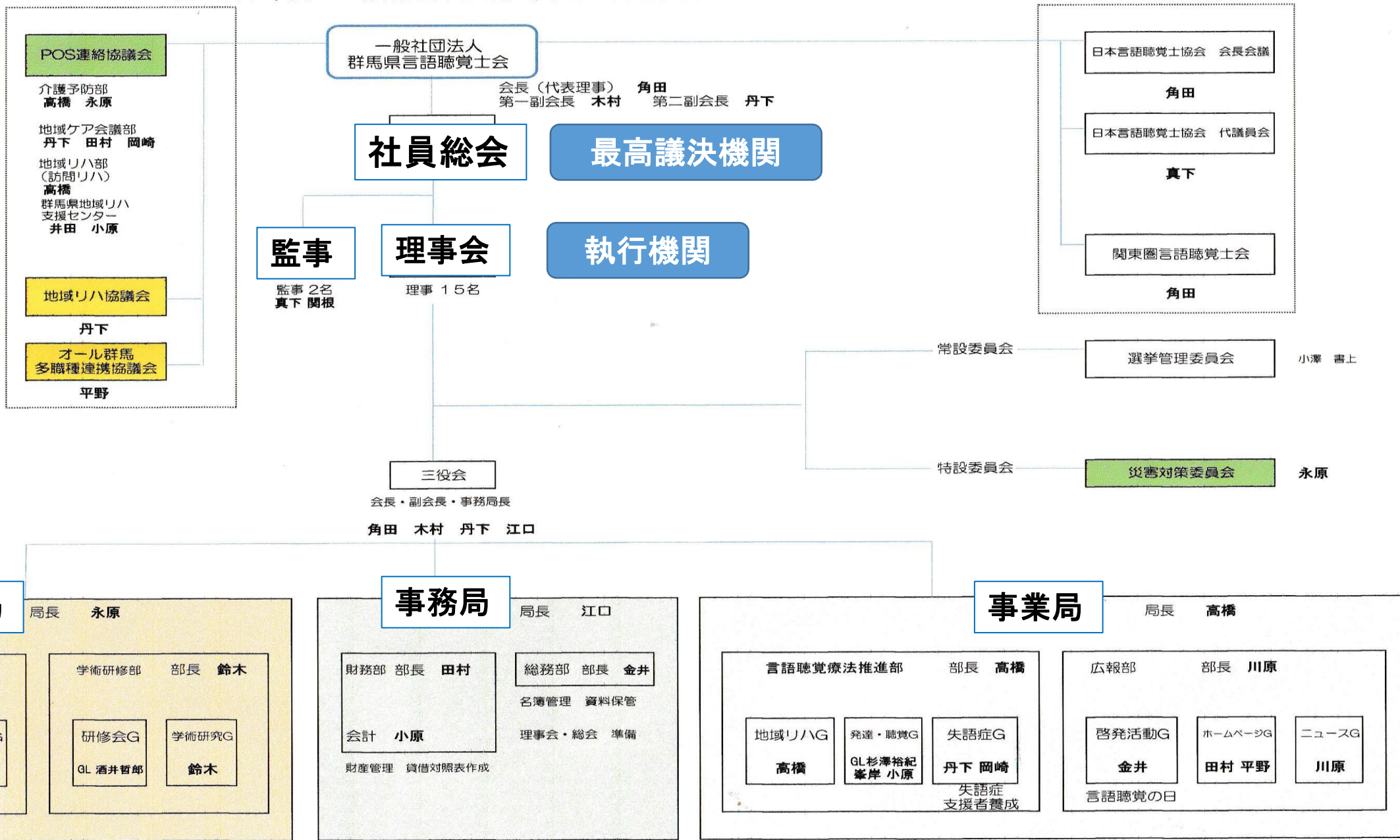
## そして

- これらについて支援が必要な方々がいること

会員同士がこれらを共有し、社会に広めるための事業

# 本会組織

2021年度 一般社団法人群馬県言語聴覚士会



担当理事：姓のみ記載  
 G：グループ GL：グループリーダー

一般社団法人群馬県言語聴覚士会 部局  
Gunma Association of Speech-Language-Hearing Therapist

- 会長 副会長（2名）
- 事務局 総務部  
財務部 会計
- 学術局 学術研修部 研修会G 学術研究G  
生涯教育部 新人研修プログラム 協会研修G
- 事業局 言語聴覚療法推進部 訪問リハG 発達聴覚G 失語症G  
広報部 啓発活動G ホームページG ニュースG

# 所属各施設を越えて「地域」という立場から

- 地域リハビリテーション活動支援事業（人材育成事業）
- 失語症者向け意思疎通支援者養成事業（部・グループへ）
- 幼稚園・学校への専門家配置事業
  
- POS連絡協議会  
介護予防部 地域ケア会議部 地域リハ部  
群馬県地域リハ支援センター (<https://www.grsc.biz/>参照)
- 地域リハ協議会
- オール群馬多職種連携協議会
  
- 災害対策委員会
  
- 関東圏言語聴覚士会（都県士会開催の研修会共有）

# 失語症者向け 意思疎通支援者養成事業



身体介護実習



外出支援実習

協会情報誌  
本会ホームページに記事掲載  
<http://gunma-st.com/>

# 広報活動

◎ 情報提供にとどまらない 情報の共有化

ニューズレター

ホームページ

直接広報活動



発行日: 令和3年9月3日

## 目次

- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| P1 トピック①       | P5 学術研修部研修会報告、学術研修部 新人症例発表会 |
| P2 トピック②、トピック③ | P6 言語聴覚療法推進部、地域リハG、理事会報告    |
| P3 勉強会情報、ひとりごと | P7 理事会報告                    |
| P4 マナー講座       | P8 理事会報告 事務局からのお知らせ         |

### トピック① 夏の補聴機器管理の重要性



最近の補聴器・人工内耳は防水機能が高いものが多くなり、少しの雨や水しぶきがかかった程度では壊れにくいですが、汗に関しては別です。汗は雨や水道水とは違い塩分を含むため、放っておくとサビの原因になります。補聴機器にサビが発生するとマイクの感度低下や接続不良が起こります。その結果、補聴機器の電源が入りにくい、音切れがする、ノイズが入る、音が小さくなるなどの不調が起こります。汗をかきやすい夏は補聴機器の不調を主訴に予約外受診される方が目立ち、多い日では1日に3名程受診されます。

汗が原因での補聴機器の故障は成人よりも小児のほうが多くみられます。そのため、保護者には汗対策の徹底をお願いしています。毎日必ず補聴機器を乾燥機に入れる、汗で補聴機器が濡れてしまったら乾いた柔らかい布で拭き取る、時々電池カバーや充電電池との接続部分を掃除する、などです。

もし、担当の患者さんや利用者が補聴機器を装着していたら「夏は補聴器が壊れやすい時期だと聞いたから、一度点検に行ってみたらどうでしょう」と声かけをしていただくと有難いです。

(文責: 篠原)





# 言語聴覚の日

言語聴覚士法の制定9/1にちなんで8～9月に、一般の住民を対象として、言語聴覚士に関する啓発活動を行います



後援  
群馬県  
群馬県PT協会  
群馬県OT士会

第3回 於：高崎イオン



はなす

たべる

ま

9/1

## 言語聴覚の日

言語聴覚士は医療機関、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活動し、障害のある方が豊かな社会生活を送ることができるように、ことばや聴こえ、飲み込みに問題をもつ方とご家族を支援します。

日本言語聴覚士協会は、言語聴覚障害や摂食・嚥下障害ならびに言語聴覚士について広く知っていただくを目的に、言語聴覚士法が施行された9月1日を「言語聴覚の日」としました。

伝える、変える、心をつなぐ

JAS  
一般社団法人  
日本言語聴覚士協会  
Japanese Association of  
Speech-Language-Hearing Therapists



# 会員の言語聴覚士としての 自己啓発力・支援技術の向上

学術局  
言語聴覚療法推進部

日本言語聴覚士協会の力も借りて・・・

- 研修会講師の依頼
- 生涯学習プログラムの利用
- 地域リハ・災害リハ等の研修参加



独自の取り組み方向

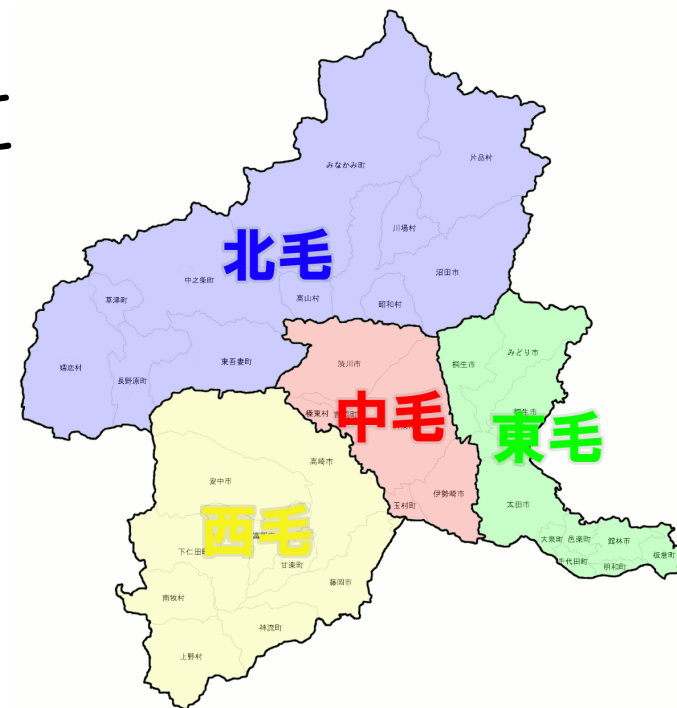
- 新人教育プログラムの継続
- 中堅職員の学術研究発表会
- 他職種連携の機会と研修
- 領域別・**地域別**研修



# 地域のSTの活動に目を向けた事業計画

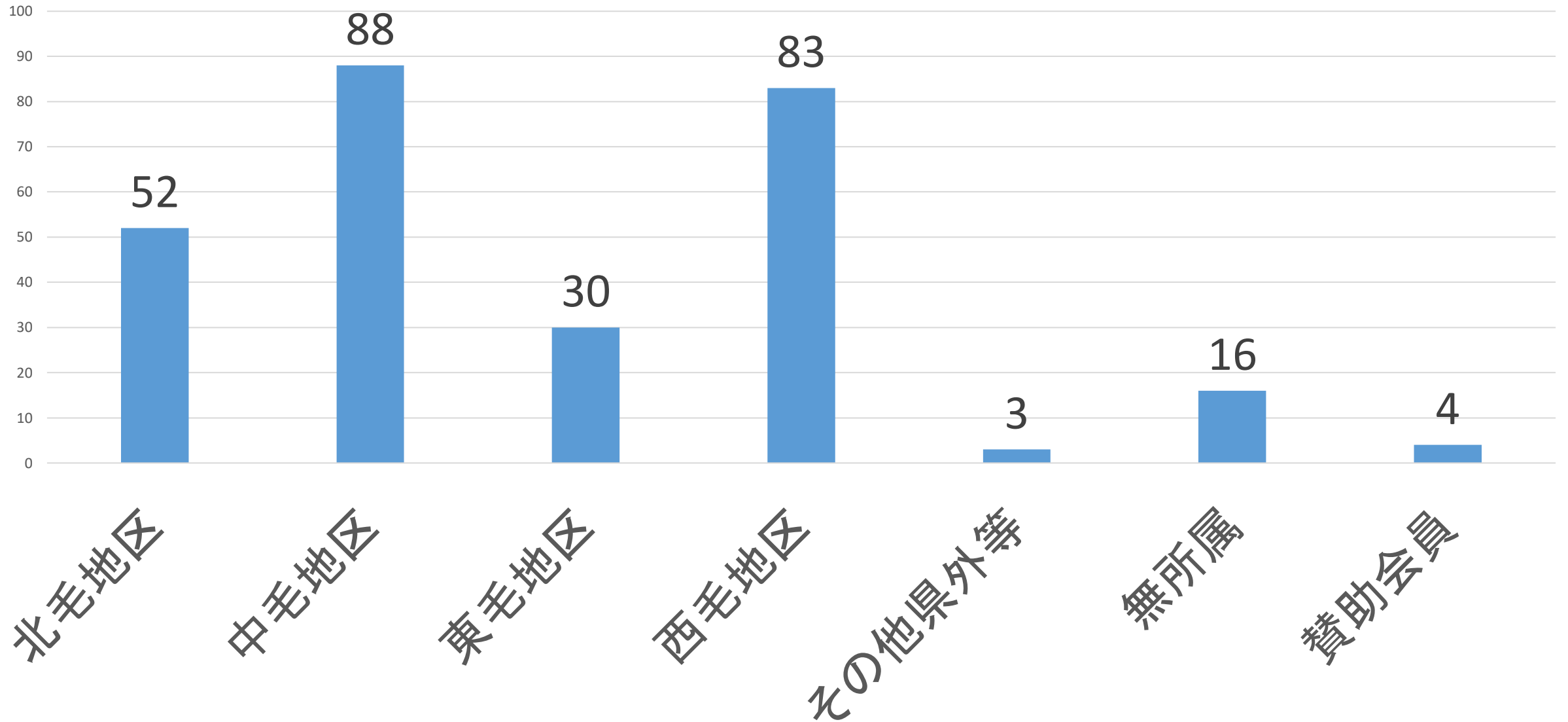
今後理事会で検討し総会に提案したいこと

- 県士会として地域のSTの活動を支援する体制整備
- 非会員・他職種を巻き込む
- 災害時に有効なネットワーク
- コロナ禍で気づいたニュー・ノーマルを生かす  
オンライン研修・会議設備とノウハウ



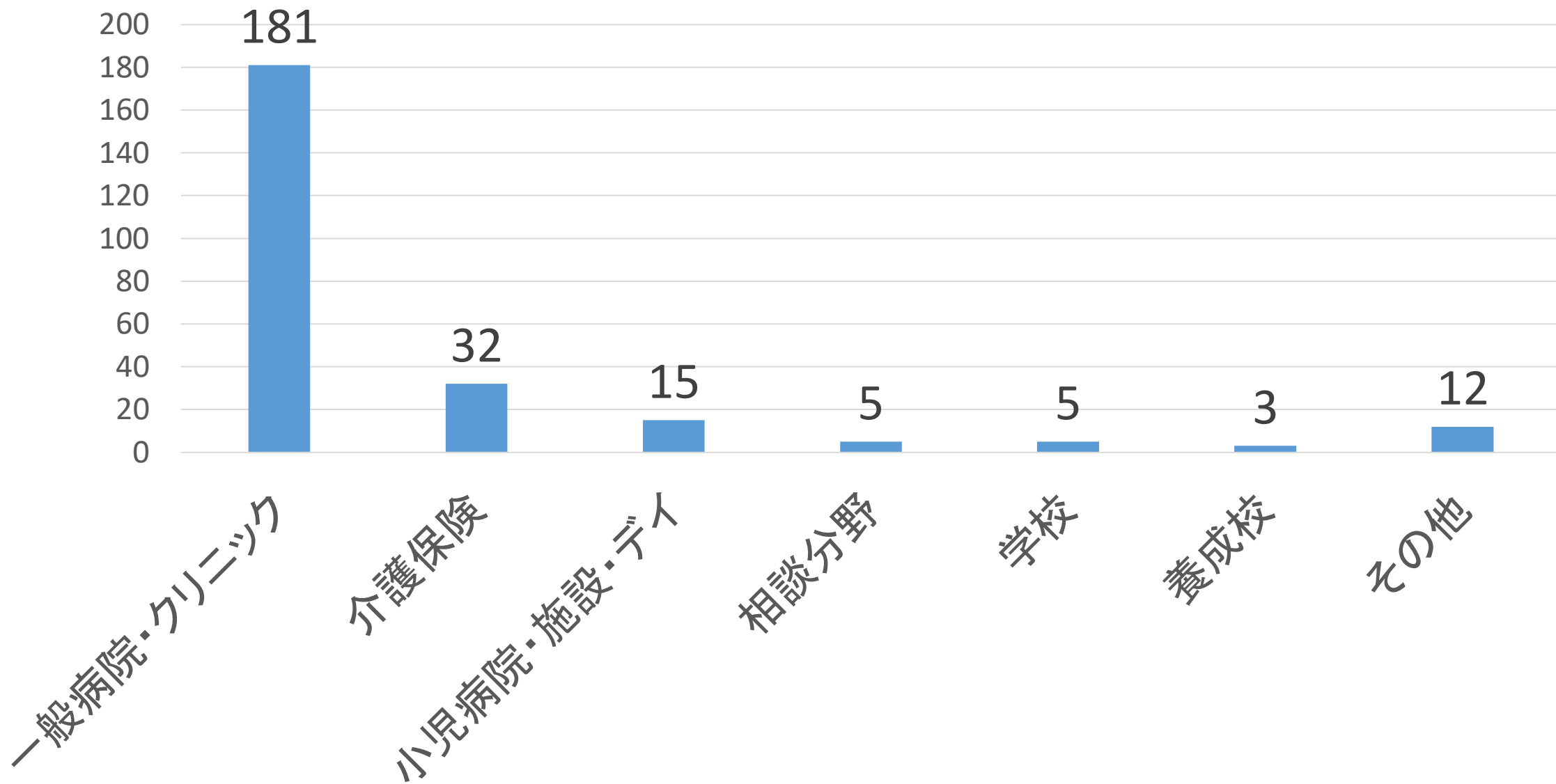
# 地区別県士会員数

合計 272名



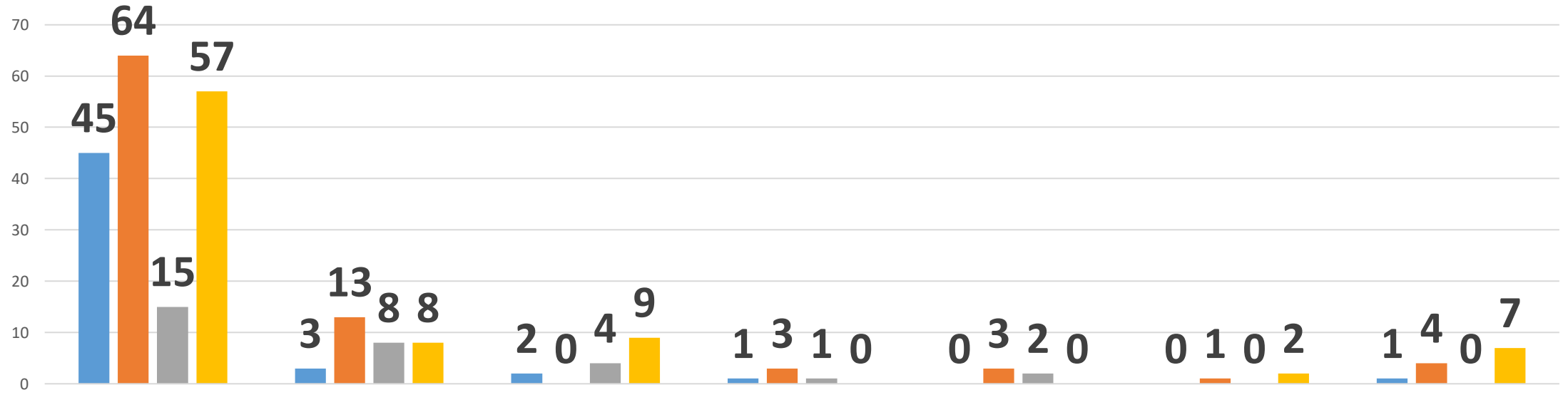
# 会員の所属施設分類

合計 253名



# 領域別 地域別 会員数

合計 253名



一般病院・クリニック

特養・老健・通所・訪問

小児病院・施設・デイ

相談分野

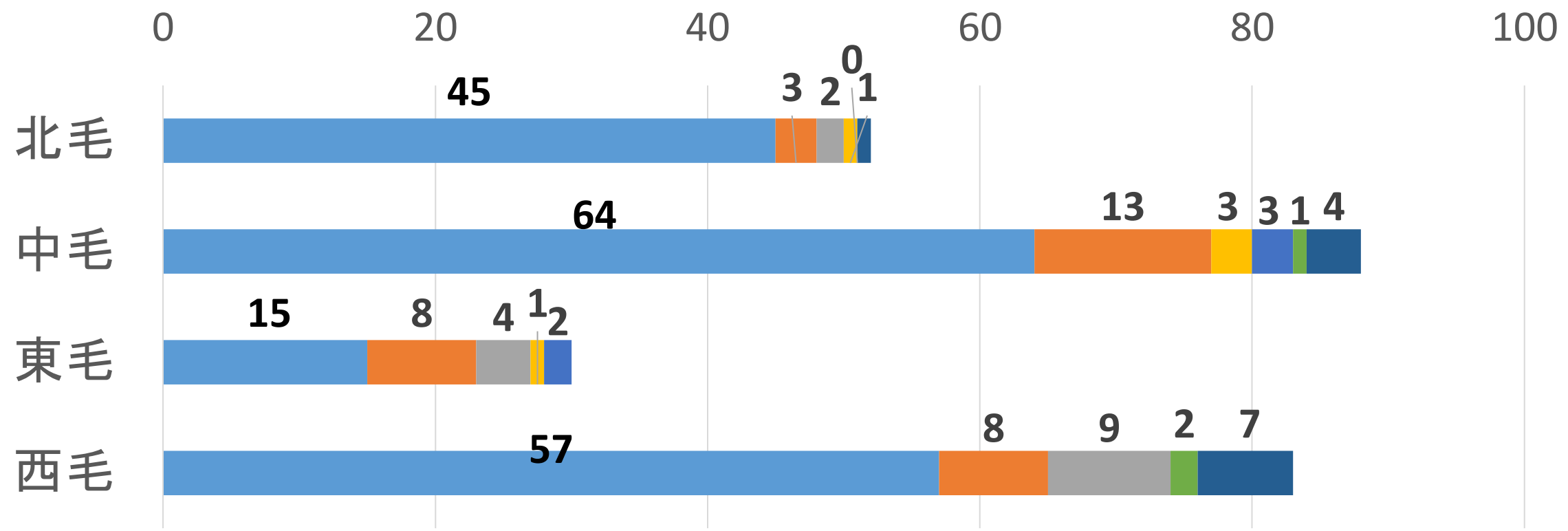
学校

養成校

耳鼻科・歯科他

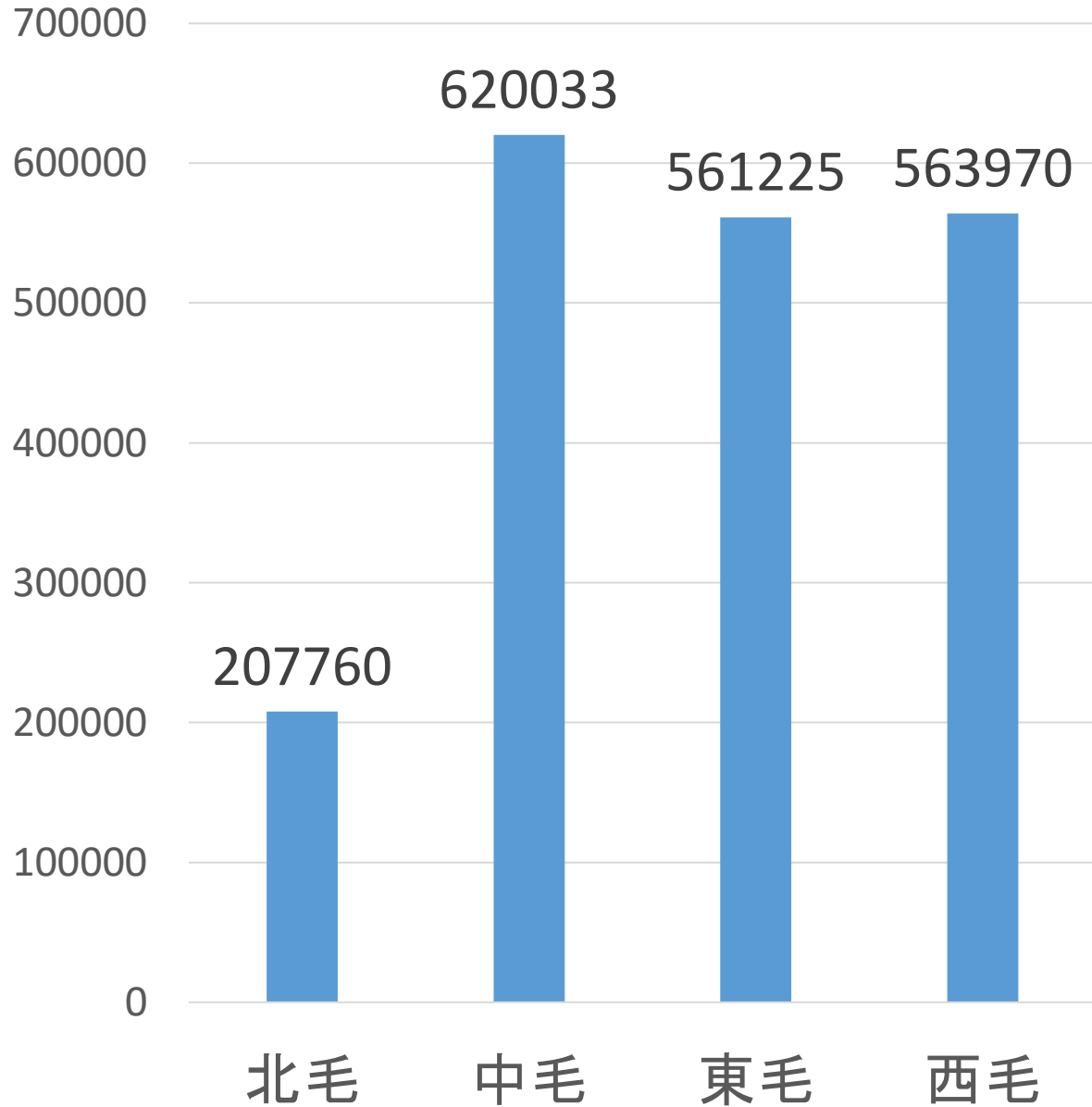
■ 北毛 ■ 中毛 ■ 東毛 ■ 西毛

# 地域別 領域別 会員数 合計 253名

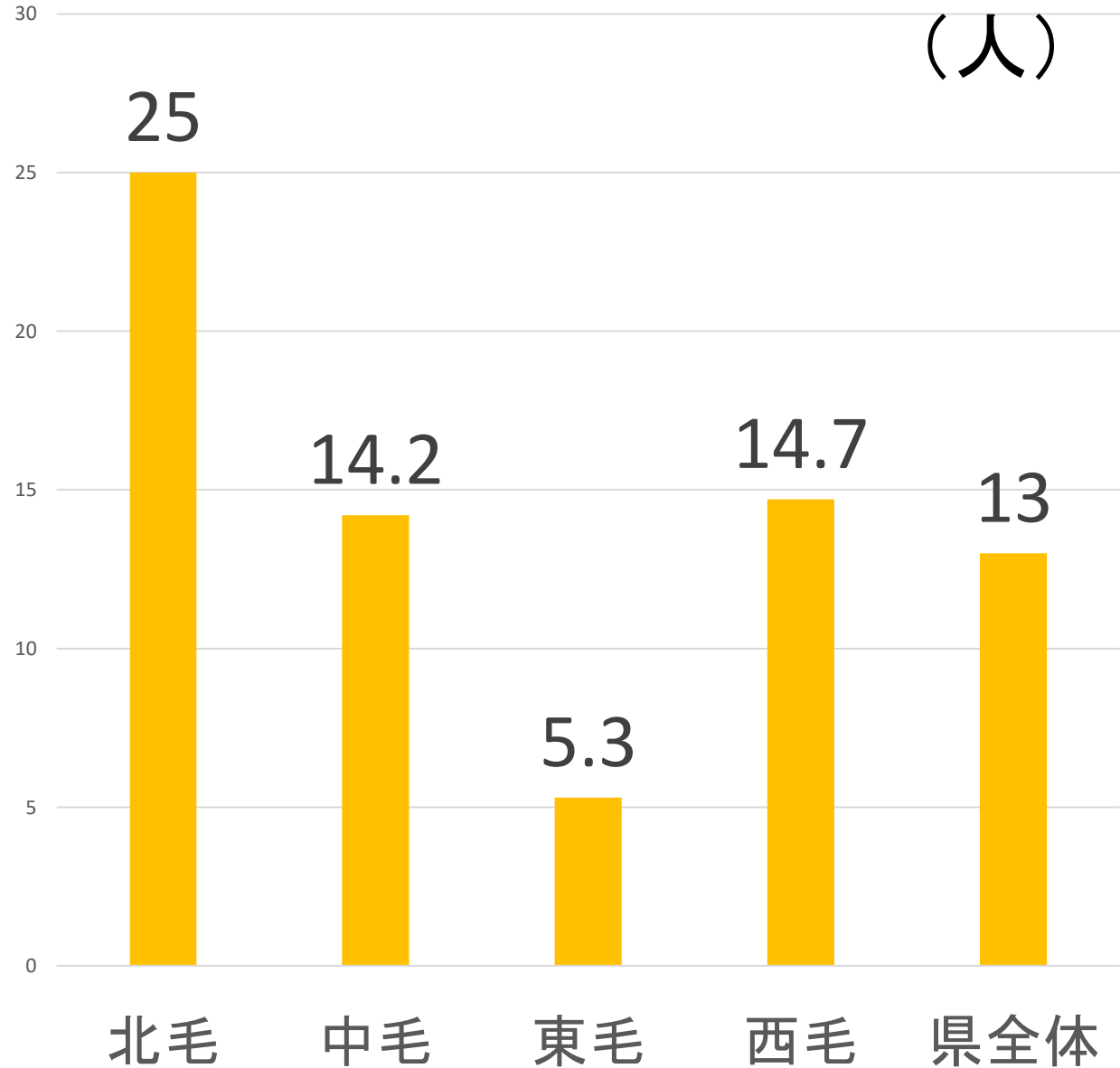


- 一般病院・クリニック
- 特養・老健・通所・訪問
- 小児病院・施設・デイ
- 相談分野
- 学校
- 養成校
- 耳鼻科・歯科他

# 地域別人口（人）

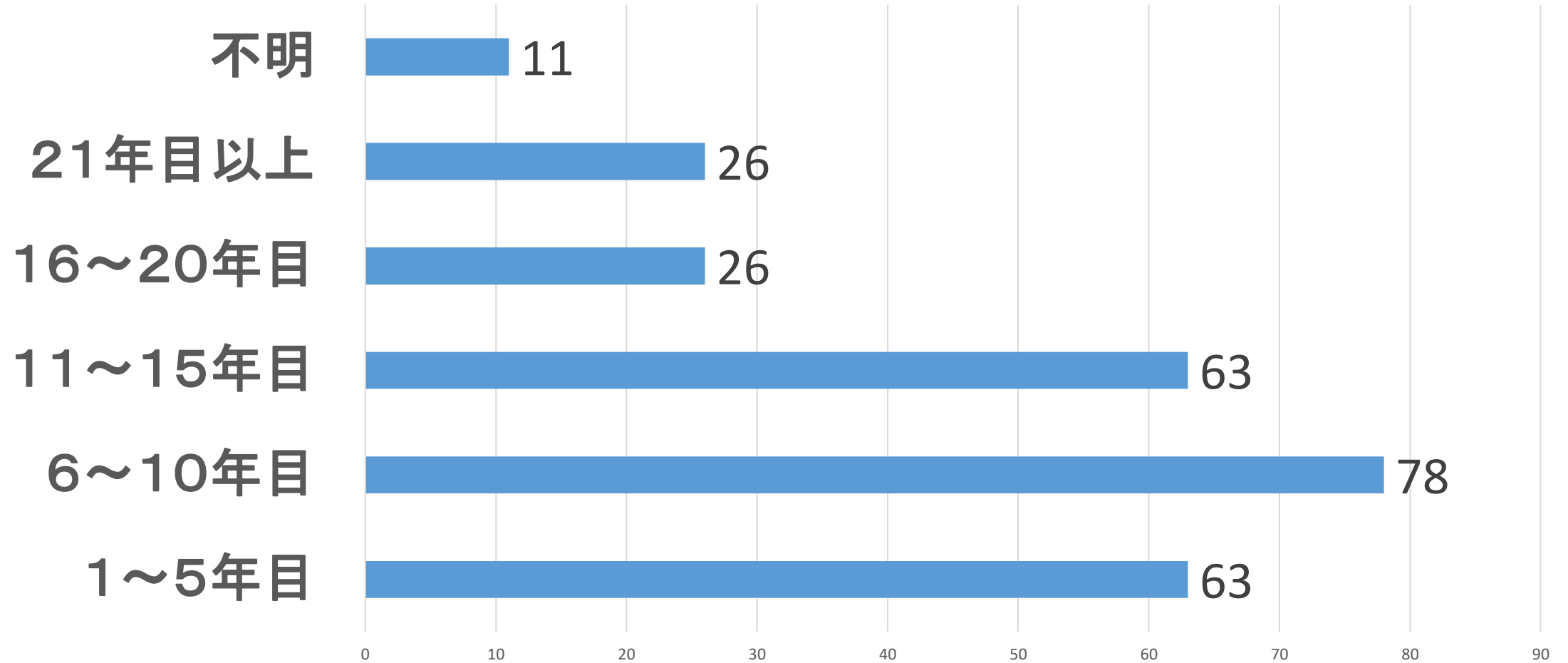


# 人口10万人当たりの会員数



# 群馬県言語聴覚士会 経験年数別集計

令和2年7月総会員数 267名



# 日本言語聴覚士協会との関係について

協会と都道府県士会の一一致化に向けて踏み出している

<日本言語聴覚士協会 定款>

第2章 会員

(種別)

第6条 ……

2 正会員は都道府県言語聴覚士会に入会することとする。

⇒ 全国的に都道府県士会側も検討している  
群馬県でも当然考えなければいけない

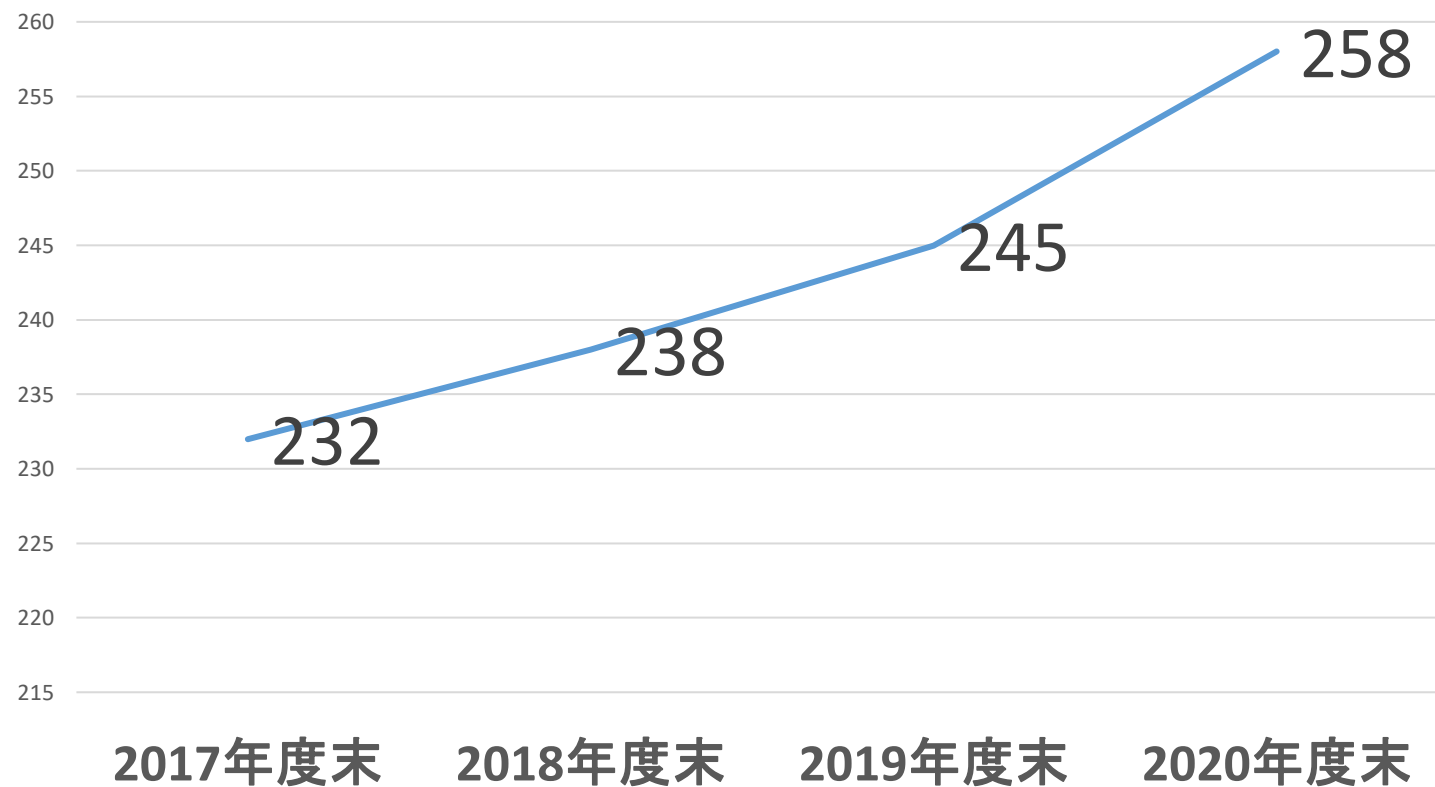
# 日本語聴覚士協会組織率 2021.3現在

日本語聴覚士数 36, 225 名

日本語聴覚士協会正会員数 19, 166 名

組織率 55.6 %

# 群馬県内の日本語聴覚士協会員数



# 組織率と組織力

- 重要なのは組織の力

- ☆ 共通の目的
- ☆ 組織の仕組み
- ☆ **各構成員の力**  
(役員・部員の拡大)



- 組織率は結果的に上がるもの

県士会の運営への参加は  
何のためにするのだろうか？



第4回 言語聴覚の日 於:スマーク伊勢崎

# 平成29年度 言語聴覚士 認知度調査

Q1 「リハビリテーションを知っていますか」

「知っている」 100%

Q2 「言語聴覚士を知っていますか」

「知っている」 56名

「知らない」 36名

「無回答」 8名

# これからの目標

- **「信用」** 対外・会員内のコミュニケーション  
発信力の強化  
情報共有の仕組み  
言語聴覚士の育成
- **「組織の安定」** 安定感の継続  
目的の共有 意見交換の場  
運営への参加会員の増員  
世代交代への意識





# 群馬県言語聴覚士会

- 言語聴覚士の仕事の本質を表す
- 群馬県言語聴覚士会の運営に望むことを表す
- 他機関との連携で望むことを表す

# 群馬の言語聴覚士文化を作るために

## 自分たちで事業の枠組を作っていく その枠組の中で事業展開する



一般社団法人  
群馬県言語聴覚士会



目的を共有し

仲間を増やして協力し

地域の理解を得るよう

会員内外にはたらきかける